

## 【県議会 2 月定例会 総務常任委員会】屋内スケート施設あり方検討関係 意見概要

## 1 日時 令和 5 年 2 月 22 日（水）

（執行部から屋内スケート施設あり方検討会議の報告書案について説明後、質疑）

## 2 意見概要

- 屋内スケート施設あり方検討会議の報告書案の説明があったが、検討が進んできた感じがする。地域から具体的な設置要望も出ており、そうした要望もしっかり踏まえて結論を出し、回答できるようにしてほしい。
- 400mのスケートリンクに関する要望も強くある。山形市に既存の屋外スピードスケート施設があるのだから、今回の検討にあたり、屋外 400 リンクを何らかの形で残すとか、県と市が連携する形で、山形市と一緒に検討すべきではないのか。
- 屋内の 400mリンクは整備、維持管理が大変であり、400mの話が出てくると、前に進まなくなる。関係団体は、オリンピックを目指してやっていくのであれば、国に支援を求めていくべき。屋内スケート施設は、来年度に方向性を示し、再来年度には着工など形あるものにしてほしい。
- 維持管理費、電気料については、バイオマス発電や再生エネルギーのように自分たちで作っていくようなことをやっていくべき。
- 県と山形市とで、造る・造らないは別にしても、コミュニケーション、意見交換があっても良いのではないかと。市は独自に検討会を立ち上げるとのことだが、しっかりコミュニケーションをとってほしい。八戸市の Y S アリーナは、国と県で整備し、市が管理運営しており、いろいろなやり方がある。県が 1 歩進んだが、今からでも、こういった取組みをしっかりこれから進める必要がある。
- 管理運営には数億円要すると聞いたが、維持管理費については民間との話し合いが必要と思う。
- スケート施設だけでなく、サッカースタジアムや博物館、米沢トンネルなどが話題に上っている。大型の事業は、全庁部局横断で検討を進めていくべき。